

多機能型デイサービス アットスマイリー北大路 事業所(職員)向け 放課後等デイサービス自己評価表集計結果

実施期間 令和5年12月20日～1月20日(配布 11名 回収 8名 回収率 73%)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	部屋の中が広くて落ち着く空間づくりがされている。／未就学の小さいお子様たちが増えてきた分、身体を十分に動かしながら遊ぶには少し物足りないのではないか、と思います。／1人ずつのスペースや間隔が取れていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4	0	個別支援の重要度の高いお子さんがいらした時に、1人に複数人の手が取られてしまうこともあり、難しいと感じる時があります。／日によってはスタッフの人数がギリギリに感じます。／多すぎず、少なすぎずで良い。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	段差がなく利用者がスムーズに利用出来ているように感じます。／独立した固定のカームダウンスペースがなく、カーテンを引いて個室っぽく使えるスペースを日替わりでカームダウンスペースとしているので、その日の利用人数(個室での学習活動を好む利用者が多い日など)によっては、自閉的傾向の強いお子さんの不穏が増すことがあったりはします。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	0	スタッフミーティングが丁寧である。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	2		第三者による評価は現在行っておりません。より一層質の高い事業所にしていくためにも、今後検討していきます。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	オンラインで勤務日以外でも参加できる。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	専門職によるアセスメントが信頼できる。／事業所による差はありますが、施設長や心理士が適時、検査が必要な子をピックアップし、専門家とスタッフが一緒になって、どの検査をどのようにバッテリーを組んでどの順番で行うかまで相談して行い、保護者さんの希望や不安をじっくりと聞いていると思う。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	SM社会生活能力検査を心理士が評価分析してくださっているのでも参考になっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	スタッフからも積極的に提案してくださっているのを助かっています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	季節感を心がけている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	土曜など時間があるときには、丁寧にテスト勉強など個別に支援できている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	午前中から児発のお子様がいる時は、放課後デイへの切り替えタイミングに子どもがすでに来ていることがあり、日によって申し送り時間が取れないことがあります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	1	送迎や退勤が早いスタッフもいて、終了後の振り返りは難しいことがある。／送りの送迎がありその日のうちに行うのは難しいですが、申し送り書等を使用して情報共有はしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	申し送りの記録はできる限り残している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	0	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	医療ケアを必要とされるご利用者様は現在おられません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	0	現在、学校を卒業されたご利用者様はおられないため。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	1	近隣施設主催の研修があると、スタッフ同士で情報を共有して教え合う良い雰囲気があると感じます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1		
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2		

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0		
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	ASD傾向の強いお子さんには、もう少し視覚支援を増やす方がいいと感じています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	座学での理解が難しいお子さんがほとんどだと思いますが、お子さんたちの来所時間がバラバラですし、実際に避難所へ行くような訓練の実現は難しいと思いますが、今の座って話を聞くだけのスタイルの避難訓練では実際に災害が起きたとき、パニックは免れないと思いますし、スタッフも系統立てた動きはできないと思います。事業所間の連絡をどう取るかの検討も手薄と感ずます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0		